

バス共通ICカード（KURURU） システム更新の検討状況について



令和4年2月15日

長野市公共交通活性化・再生協議会

システム更新の背景

- 平成24年10月に市内路線バスに導入したIC車載器の老朽化による更新が必要
- 令和元年にシステム更新を行ったが、令和6年には法定耐用年数を超えるため、業務継続上のリスクがある



- 令和6年末までにはシステム更新を行う必要がある

現行KURURUの課題

- 長野市と周辺市町村のみで利用できる独自カード



- × 全国で利用できるICカード未対応のため
観光客等は現金での支払いとなっている
- × 5年程度で大規模な更新が必要となり財政負担が大きい
- × チャージ等の場所が限られるため利便性が低い



- 現行システムの単純更新以外にも視野に入れる必要がある

システム更新の3パターン

(1) 単純更新

現行のKURURUをそのまま使用

(2) 全国共通交通系ICカード

(3) 次世代決済

スマートフォンのQRコードや非接触のクレジットカードを用いた決済

ICカードシステム運営委員会（バス事業者、KURURU構成市町村が委員）で検討を行っています

(1) 単純更新

現行のKURURUをそのまま使用

メリット

運用面でほぼ変わりが無い



デメリット

- ・長野地域でしか利用できない
(全国共通交通系ICカードとの連携はなし)
- ・初期導入と同じ程度の費用が発生するが
国庫補助は受けられない

(2) 全国共通交通系 I C カード

メリット

- 全国の鉄道やバスなどで利用できる
(観光客の移動は便利)
- コンビニでチャージができるほか電子マネーとして使用できる
- 国庫補助 (最大1/3) が受けられる

デメリット

- KURURUから乗り換える場合はサービス休止期間を設ける必要がある
(一斉切り替えできないため)

(3) 次世代決済（QRコード・非接触クレカなど）

メリット

- 交通系IC導入よりコスト的に安価
- 場所や時間を問わずチャージや定期券の購入ができる（QR決済）
- 普段使用しているスマートフォンやクレジットカードで利用できる

デメリット

- スマートフォンやクレジットカードがない人への対応
- QRの表示等に時間がかかる場合があるためバスの定時運行性に懸念がある
- 高齢者割引など現行の割引、ポイント制度が利用できない可能性がある

スケジュール (案)

令和7年春のシステム更新を想定したスケジュール (案) です

	令和4年						令和5年						令和6年						令和7年						
	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9		
協議会	▽	▽	▽	→																					
予算折衝(行政)									→																
業者選考・決定											→														
システム開発								→																	
車載器等取付																			→						
																					▽新システム稼働				